

第 2 回 三池港港湾脱炭素化推進協議会

議事概要

日 時 : 令和 6 年 3 月 26 日 (火) 14 : 00~16 : 00

場 所 : 福岡県大牟田総合庁舎 2 階大会議室

開催形式 : 対面及び Web の併用

【議事概要】

(議事 2 : 規約)

事務局より、規約 (案) を説明し、構成員の承認を頂いた。

(議事 3—1 : 国における脱炭素化の取組)

九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所より、国における脱炭素化の取組について説明を行った。

- ・「港湾脱炭素化推進計画」作成マニュアルの公表 (令和 5 年 3 月 30 日)
- ・「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」発表 (令和 4 年 12 月 27 日)
- ・「CNP 認証 (コンテナターミナル)」の試行を開始 (令和 5 年 11 月 24 日)
- ・港湾における水素等の受入環境整備に関する検討

(議事 3—2 : 三池港港湾脱炭素化に向けた取組)

事務局より、三池港港湾脱炭素化に向けた取組について説明を行った。

- ・アンケート調査 (概要、報告)
- ・三池港における CO₂ 排出量
- ・港湾脱炭素化推進計画の記載事項について

<構成員>

三池港において次世代エネルギーの活用イメージはあるか。

<事務局>

現段階で具体的な計画はない。今後検討していくためにも、引き続きヒアリング等を通じて次世代エネルギーの需要と供給について情報収集を行う。

<構成員>

三池港における CO₂ 排出量の算出結果であるが、2013 年度から 2022 年度にかけて、CO₂ 排出量が減少しているが、要因は何かご教示頂きたい。

<事務局>

アンケート調査より、具体的な取組の報告はなく自然減に近いものと推測している。

<構成員>

三池港においてブルーカーボン事業を検討する際は、航路を維持するために行っている浚渫の土砂を活用する等、ブルーインフラの整備等について協力させていただきたい。

<事務局>

ブルーカーボンについては取組が必要と認識しているが、技術面や情報等で不足するところがあるため、ご支援頂きたい。

(議事 3—3：構成員の取組)

構成員 4 社より、脱炭素化に資する取組について紹介頂いた。

(議事 3—4：今後のスケジュール)

事務局より、今後のスケジュール及び次回協議会の予定について説明を行った。

(議事 3—5：意見交換)

構成員より、以下の意見が示された。

<構成員>

脱炭素化に向けて、電化を進めていくことが 1 つのターゲットになると考えているが、現在の大牟田市内あるいは福岡県内において、どのように再エネ電力を導いていくかご教示頂きたい。

<事務局>

再エネ電力について、三池港内では事業者がもつ太陽光パネル等がある。現状、具体的に計画化されているものは無く、今後、課題の一つとして検討していきたい。

以上